

2023 年度 事業報告書



社会福祉法人 **太陽会**

2024.6.6 理事会（案）

使命・基本理念

■ 使命

Quality of Life への貢献

私たちは、全ての人々の幸福に貢献するために、常に愛とホスピタリティの心を大切にし、ゆとりある理想社会の創造を使命とします。

■ 基本理念

1. ご利用者の「生命の尊厳」と「人権の尊重」を最優先します。
2. 職員は「信頼と尊敬」の心を持ち、常に「研鑽と人間的成長」に努めます。
3. ご利用者との「相互理解」を深め、「信頼と共生」を価値観とします。
4. 地域社会への「参加」と地域医療・福祉・教育への「貢献」を奨励します。

■ 職員の5つの心得

1. 生命は尊くかけがえのない存在である。
2. 人間としてのあらゆる権利を尊重する。
3. 理想社会の実現に向けて、常に向上心を持ち続ける。
4. 常に充実感をもち、明るく行動する。
5. まず、私たちが幸福でなければ、良きサービスは提供できない。

目 次

はじめに	3
1. 組織体系図	4
2. 事業所の概要	5
3. 理事会・評議員会の開催状況	6
4. 監査	8
5. 県指導監査	8
6. ISO9001:2015 内部監査・外部審査	9
7. 地域における公益的な取組	9
8. 中長期プロジェクト	10
9. 職員の動静	11
10. 労働災害の発生状況	12
11. 年間の休暇・休職の状況	12
12. めぐみの里(特別養護老人ホーム)	13
13. たいよう(介護老人保健施設)	15
14. まんぼう(ケアハウス)	17
15. しあわせの里(障害者支援施設)	19
16. らんまん(障害福祉サービス事業所)	21
17. 千葉県中核地域生活支援センター ひだまり	23
18. 鴨川市総合相談センター 天津小湊	25
19. 安房地域医療センター(病院)	27
20. 訪問看護ステーション おひさま	29
21. 安房医療福祉専門学校(看護学科)	31
22. 認定こども園 OURS(認定こども園)	33
23. OURS baby(企業主導型保育所)	35
24. パークウェルステイト鴨川	37
25. 家事代行サービス ルアナ	39
26. 有料職業紹介事業サンキャリ 労働者派遣事業サンキャリ	41

はじめに

2020 年から始まった新型コロナウイルス感染拡大も予防接種の普及、治療方法や治療薬の開発が進むと共に、弱毒化、収束化が進み、2023 年度は様々な COVID-19 対策が終了し、従来の生活や活動を取り戻す年となりました。この間、日本は少子高齢化、人口減少が進み、バブル崩壊以降の経済停滞が続き、他の先進国との物価や所得が拡大し、急激な円安や GDP の低下も重なり、国力が低下しています。

医療・介護サービスは、国の成熟度や国力を表す重要な社会保障制度です。特に国民皆保険や介護保険制度は現物給付型社会保証制度であり、財政的な問題のみならず、サービス提供者などの労働力不足によって継続が困難となり、制度崩壊を起こす危険性があります。

2023 年度は 2024 年度からの医療保険、介護保険、障害者のサービスの改定に向けた議論が行われましたが、微々たる改定に留まりました。国は物価の上昇や他国の経済成長に対応して国民所得の増加を進めたいと考えており、今回、業界団体を通じ、大企業を中心とした大幅な給与の増加を図りました。このような状況の中で、今回改定された公定価格で、次期改定まで、医療、介護施設が継続していく事は非常に厳しいと思われます。

そこで、社会福祉法人太陽会は、国民や地域の方々のニーズに応えつつ、公定価格に捕われない医療・介護サービスを展開し、この窮状を乗り越えたいと思います。

医療に関しては、診療報酬改定に則した病棟編成や入退院システムの変更を行い、当院の特徴を生かした「安房総合健康管理センター」や「高度眼科センター」の開設を準備いたします。

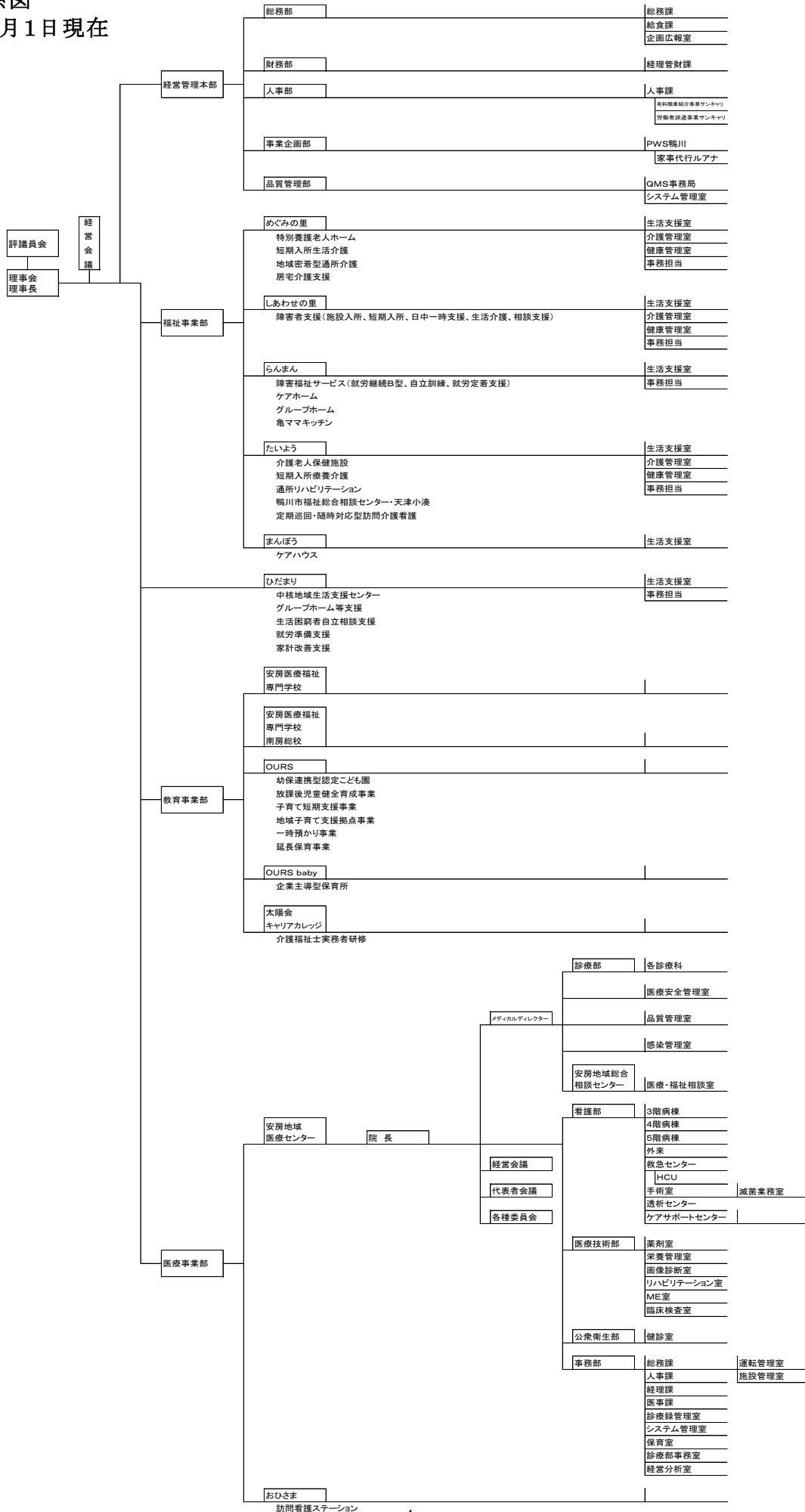
介護サービスは、三井不動産と連携し、「パークウェルステイト幕張ベイパーク」を中心に、地域の医療機関とも連携し、訪問医療、訪問看護、訪問介護を展開するなど、幅広い地域に開かれたサービスを行います。また、他の大手企業とも連携し、幅広い福祉・介護サービスを展開します。

その為に、財政的な問題を抱えながら進めてきた、安房医療福祉専門学校や安房医療福祉専門学校南房総校での看護師や外国人を中心とした介護福祉士の養成が、最も重要な基盤になると思います。

理事長 亀田信介

1. 組織体系図

2024年4月1日現在



2. 事業所の概要

事業所名	管理者	所在地	電話番号
特別養護老人ホーム めぐみの里	茂木 修	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1222-1	04-7098-1000
介護老人保健施設 たいよう	和泉 悟	〒296-0043 千葉県鴨川市西町 1011-1	04-7093-7711
ケアハウス まんぼう	永井 広雄	〒296-0041 千葉県鴨川市東町 607-1	04-7099-1331
障害者支援施設 しあわせの里	民内 順子	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1243-2	04-7098-1110
障害福祉サービス事業所 らんまん	鈴木 晃	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1245	04-7098-1800
千葉県中核地域生活支援センター ひだまり	香田 道丸	〒294-0014 千葉県館山市山本 1155 安房地域医療センター敷地内	0470-28-5667
鴨川市福祉総合相談センター 天津小湊	山口 聡子	〒299-5503 千葉県鴨川市天津 163-1	04-7094-5800
安房地域医療センター	福内 正義	〒294-0014 千葉県館山市山本 1155	0470-25-5111
訪問看護ステーション おひさま	鈴木 健一	〒294-0051 千葉県館山市正木 1314-1	0470-29-7868
安房医療福祉専門学校	大塚 逸子	〒294-0007 千葉県館山市腰越 801-1	0470-28-5100
認定こども園 OURS	米倉 和昭	〒296-0044 千葉県鴨川市広場 1726-1	04-7099-0800
企業主導型保育所 OURS baby	千束 静子	〒296-0044 千葉県鴨川市東町 601-1 Sun OURS 2 階	04-7096-5800

3. 理事会・評議員会の開催状況

開催日	議題
【第1回】評議員会 2023年4月11日(火) 決議の省略	【決議事項】 1. 定款変更の承認の件
【第1回】理事会 2023年6月10日(土) 午前10時00分より Sun OURS 3階会議室	【決議事項】 1. 2022年度事業報告について 2. 2022年度決算について 3. 理事・監事候補者について 4. (仮称)安房医療福祉専門学校南房総校にかかる設備資金借入及びそれに伴う不動産担保提供について 5. 経理規定の改訂について 6. 組織図の改訂について 7. 評議員会について 8. その他 運営規程の制定について 【報告事項】 1. 職務執行状況(理事長)の報告について 2. ケアサポートセンターMOANA(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)について 3. 館山市公私連携幼保連携型認定こども園設置・運営法人募集について 4. 令和4年度指導監査の結果の修正について
【第2回】評議員会 2023年6月29日(木) 午後5時00分より Sun OURS 3階会議室	【決議事項】 1. 理事・監事の選任について 2. (仮称)安房医療福祉専門学校南房総校にかかる設備資金借入及びそれに伴う不動産担保提供について 【報告事項】 1. 2022年度事業報告について 2. 2022年度決算について
【第2回】理事会 2023年7月5日(水) 決議の省略	【決議事項】 1. 理事長の選定について 2. 太陽有限責任監査法人との監査契約締結について 3. 評議員選任・解任委員について
【第3回】理事会 2023年9月23日(土) 決議の省略	【決議事項】 1. しあわせの里空調機更新工事について
【第4回】理事会 2023年11月16日(木) 決議の省略	【決議事項】 1. (仮称)OURS 館山増築工事について

<p>【第5回】理事会 2023年12月2日(土) 午前10時00分より Sun OURS 3階会議室</p>	<p>【決議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2023年度上期実績及び資金収支補正(案)について 2. 就業規則等の改定について 3. インボイス制度、電子帳簿保存法等対応のためのシステム導入について 4. 公私連携幼保連携型認定こども園 OURS 館山の増築に伴う資金計画、担保提供、その他借入条件について 5. 公私連携幼保連携型認定こども園 OURS 館山にかかる民間金融機関からの借入について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職務執行状況(理事長)の報告について 2. 安房地域医療センターについて 3. (仮称)安房医療福祉専門学校南房総校の設置について 4. 令和5年度指導監査等の結果について
<p>【第6回】理事会 2024年2月28日(水) 決議の省略</p>	<p>【決議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (仮称)OURS 館山増築工事について 2. 運営規程の変更について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度指導監査等の結果について
<p>【第7回】理事会 2024年3月15日(金) 決議の省略</p>	<p>【決議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護老人保健施設たいよう昇降機リニューアル工事について 2. 安房医療福祉専門学校南房総校について 3. 施設長等の選任および異動について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利益相反取引の報告について
<p>【第8回】理事会 2024年3月28日(木) 午後3時00分より Sun OURS 3階会議室</p>	<p>【決議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2023年度資金収支補正予算(案)について 2. 2024年度事業計画(案)について 3. 2024年度資金収支予算(案)について 4. 経理規定の改訂について 5. SBI 新生銀行に対する介護報酬債権の担保提供について 6. 就業規則の改定について 7. 賃金規則の改定について 8. 三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社との委託契約について 9. KTS 川間アパートC棟、D棟の一括借り上げについて 10. 介護福祉学科の学生への千葉県社会福祉協議会 奨学金貸付の連帯保証について 11. 安房地域医療センター胸部集団検診 X線システム検診車(骨密度測定器搭載)について 12. その他 組織図の改訂について 安房地域医療センターの借入について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽有限責任監査法人にかかる行政処分について 2. OURS 館山増築工事の進捗状況について

4. 監査

2023年6月1日	会計監査法人監査 (令和4会計年度)	太陽有限責任監査法人 無限定適正意見
2023年6月5日	監事監査 (令和4会計年度)	三亀 勝弘 監事 満田 稔 監事 指摘事項なし

【会計監査人が受けた過去2年間の業務の停止の処分に関する事項】

当法人の会計監査人は2023年12月26日付で、金融庁からの契約の新規の締結に関する業務の停止3カ月間(2024年1月1日から同年3月31日まで)の処分を受けました。

5. 県指導監査

2023年6月8日	企業主導型保育所 OURS baby	指摘事項なし
2023年7月31日	安房医療福祉専門学校	口頭指導 1件
2023年8月2日	安房地域医療センター 保育所	指摘事項なし
2023年11月1日	障害者支援施設 しあわせの里	文書指導 1件 ※12月28日に、指摘事項改善状況報告書、関係書類を提出し、受理される。 口頭指導 2件 助言 2件
	グループホーム星の砂	口頭指導 3件 助言 2件
	ケアホームらんまん	口頭指導 3件 助言 2件
	障害福祉サービス事業所 らんまん	口頭指導 4件 助言 3件
2023年12月25日	認定こども園 OURS	口頭指摘 1件 助言 1件
2024年1月17日	介護老人保健施設 たいよう	(介護老人保健施設、短期入所療養介護、介護予防短期入所療養介護) 口頭指導 1件 助言 7件 (通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション) 口頭指導 1件 助言 6件
2024年1月19日	訪問看護ステーション おひさま	(介護予防訪問介護、訪問介護) 助言 2件
	安房地域医療センター	(通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション) 口頭指導 2件 助言 1件

6. ISO9001:2015 内部監査・外部審査

・福祉事業部

上期内部監査	2023年4月19日～30日(内9日間)
再認証審査(※)	2023年5月25日～28日
認証更新日	2021年7月3日(有効期限2024年7月23日)
下期内部監査	2023年10月13日～19日(内13日間)
サーベイランス審査(※)	2023年11月25日～26日

※BSIグループジャパン株式会社

・医療事業部

サーベイランス(継続)審査(※)	2023年6月22日～23日
認証更新日	2023年12月11日(有効期限2026年12月25日)
再認証審査(※)	2023年11月8日～10日

※BSIグループジャパン株式会社

2023年度の内部監査は、病院機能評価受審に向けて、品質管理部が全部署のヒアリングを実施したためそれを内部監査に充てた。(BSIグループジャパン株式会社 了承済)

・安房医療福祉専門学校

サーベイランス(継続)審査(※)	2023年7月28日
上期内部監査	2023年8月4日～9月6日(内4日間)
再認証審査(※)	2023年11月7日・10日
認証更新日	2023年11月27日(有効期限2026年12月17日)
下期内部監査	2023年12月27日～1月10日(内3日間)

※BSIグループジャパン株式会社

7. 地域における公益的な取組

- ・無料低額診療事業【安房地域医療センター】
- ・地域子育て拠点事業【認定こども園OURS】
- ・買い物支援(市地区社協との連携、車両の貸し出し)【特別養護老人ホームめぐみの里】

8. 中長期プロジェクト

ケアサポートセンターMOANA(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)

2023年6月1日	開設
-----------	----

(仮称)安房医療福祉専門学校南房総校

2023年8月8日	日本語学科新設に係る文部科学省によるヒアリングを実施。結果として告示不相当となり、2024年4月1日の開設が困難となる。2024年10月開設を目指し、2023年11月10日に東京入国管理局に資料を再度作成し提出した。
2023年8月19日、9月2日、9月16日、10月14日、12月9日、2024年1月13日、2月10日	オープンキャンパス(全7回)開催
2024年2月	南房総校改修工事完了
2024年3月	令和5年度第4回千葉県私立学校審議会において設置認可

(仮称)パークウェルステイト幕張ベイパーク

2024年3月29日	業務等契約締結 ①開業前準備覚書書 ②介護看護業務委託契約 ③併設クリニック業務委託契約 ④定期建物賃貸借契約(同一建物内介護事業所) ⑤定期建物賃貸借契約(同一建物内クリニック) ⑥資産譲渡契約(同一建物内クリニックB工事)
------------	---

(仮称)認定こども園 OURS 館山

2023年6月28日	「館山市に設置する公私連携幼保連携型認定こども園設置及び運営に関する協定書」を締結。
2023年11月13日	「不動産使用賃貸借契約書」を締結。
2024年1月22日	(仮称)OURS 館山増築工事一般競争入札 実施(不落札) 不落札により、令和5年度交付金決定を取り下げ、令和6年交付金申請に切り替える。
2024年3月25日	(仮称)OURS 館山増築工事一般競争入札 実施(落札)

安房地域医療センター新棟建設等

2023年4月より	新棟建設基本計画策定会議の開催(毎月1回)
2023年12月	南房総市立富山国保病院の病床移管方針の撤回を受け計画中断
2024年1月より	新棟建設計画のうち、健診・眼科部門(安房総合健康管理センター・高度眼科センター)の先行開設プロジェクト発足

【継続事業の前提に関する重要事象等】

当法人は、前事業年度に引き続き当事業年度も、重要なサービス活動増減差額のマイナスを計上し、また、当期資金収支差額のマイナスを計上しております。これらにより、継続事業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象または状況が存在しております。

当法人は、当該状況を解消すべく、以下の施策に取り組んでまいります。

- (1)中長期プロジェクトを新たな収益創造の軸と捉え、既存の事業とのシナジー効果を加速することで企業価値向上に努めてまいります。
- (2)病棟再編や施設の稼働率向上等、ニーズにマッチした最適なサービスを提供することで収益力の拡大を目指します。
- (3)人員の適正配置や業務効率化等、コスト管理の徹底を図り、物価高騰等の外的要因に耐えうる財務基盤の強化を目指します。

なお、当法人では、当期末現在の現金預金残高は 1,425 百万円、当期末支払資金残高は 1,156 百万円であり、重要な資金繰りの懸念はありません。したがって、継続事業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

9. 職員の動静

正雇用		2023年3月末時点			2024年3月末時点			差		
		正職員	嘱託・ 契約	パート・ アルバイト	正職員	嘱託・ 契約	パート・ アルバイト	正職員	嘱託・ 契約	パート・ アルバイト
経営管理本部		40	6	16	39	7	26	-1	1	10
福祉事業部	めぐみの里	61	10	24	61	9	23	0	-1	-1
	しあわせの里	37	3	21	38	2	20	1	-1	-1
	らんまん	11	2	15	13	2	14	2	0	-1
	たいよう	54	7	34	60	7	25	6	0	-9
	まんぼう	5	0	3	5	0	3	0	0	0
	ひだまり	5	0	0	5	1	0	0	1	0
	鴨川市福祉総合相談 センター・天津小湊	2	2	0	3	2	0	1	0	0
	PWS 鴨川	16	4	1	17	4	1	1	0	0
教育	安房医療福祉専門学校	14	3	0	15	2	0	1	-1	0
	OURS	56	5	26	52	5	31	-4	0	5
	OURS baby	20	3	13	21	3	9	1	0	-4
安房地域医療センター		391	37	106	389	37	107	-2	0	1
全 体		712	82	259	718	81	259	6	-1	0

10. 労働災害の発生状況

正雇用+非正雇用	業務	通勤	計
経営管理本部	5	0	5
福祉事業部	3	1	4
教育事業部	2	0	2
安房地域医療センター	21	1	22
全体	31	2	33

11. 年間の休暇・休職の状況

正雇用+非正雇用		産前 産後	育児	介護	育児/ 介護短時間	休職/ 傷病	その他	計
経営管理本部		0	0	0	0	2	0	2
福祉 事業 部	めぐみの里	0	1	0	2	5	0	8
	しあわせの里	0	0	0	0	5	0	5
	らんまん	0	0	0	0	1	0	1
	たいよう	1	1	0	2	5	0	9
	まんぼう	0	0	0	0	0	0	0
	ひだまり	0	0	0	0	1	0	1
	鴨川市福祉総合相談 センター・天津小湊	0	0	0	0	0	0	0
	PWS 鴨川	0	2	0	0	0	0	2
教育	安房医療福祉専門学校	0	1	0	1	0	0	2
	OURS	1	4	1	6	5	0	17
	OURS baby	1	2	0	1	3	0	7
安房地域医療センター		7	7	4	27	40	0	85
全体		10	18	5	39	67	0	139

12. めぐみの里（特別養護老人ホーム）

【事業及び定員】

・特別養護老人ホーム	78名	・居宅介護支援(太陽会ケアプラザセンター OHANA)
・地域密着型特別養護老人ホーム	20名	・介護予防事業(短期、通所、居宅)
・短期入所生活介護	12名	・介護福祉士実務者研修(太陽会キャリアカレッジ)
・地域密着型通所介護	18名	・鴨川市ひまわり配食サービス

【事業実績】

2023年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されたが、施設内においてはそれまでと変わらない対応が求められた。安定した施設運営、収支状況の回復のため、高稼働率の維持を目標に取り組んできたが、感染者が0という訳にはいかず、居室の閉鎖やショートステイの利用停止等が度々あった。

そのような状況の中、徐々にではあるが行事や面会の制限も緩和され、ご利用者の笑顔が見られる機会が増えてきている。また、地域の関係機関との連携においても、これまで閉鎖的であった部分が解消されてきており、レスポンスのいい対応が可能となってきた。収支状況については、非常に厳しい状況にあり、計画的な施設整備の実施には至らなかった。

	入所	ユニット	短期	通所
稼働率	97.7%	94.1%	79.7%	67.1%
平均年齢	87.5歳	87.8歳	88.5歳	86.3歳
最高年齢	104歳	98歳	101歳	101歳
最低年齢	62歳	74歳	71歳	63歳
平均介護度	3.9	3.8	3.1	2.3
新規利用者数	22	12	46	13
退所者数	16	12	—	—

◆ サービスの充実

- ・生活支援室、介護管理室、健康管理室の3室合同で品質目標を掲げ、多職種連携・協力をしながら、品質目標計画書に基づき、業務に取り組んだ。
- ・行事や外出など、感染拡大に注意しながら、ご利用者に楽しんでいただけるよう取り組んだ。年度の後半には、施設外に出かける機会も増えてきた。
- ・顧客満足度調査を実施し、ご利用者から様々な意見・要望を確認し、改善活動を行った。
- ・中庭の家庭菜園で野菜作りをおこない、ご利用者が育てた野菜を食材として提供することで、日々の献立に変化をつけ、質の向上を図ることができた。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

- ・次年度の介護報酬改定に向けて、説明会や研修会に参加し、情報収集を行った。
- ・収支状況の回復を念頭に高稼働率の維持に取り組み、収入は前年度を上回る事ができたが、あらゆる物価の高騰などにより、費用も上昇し、回復には至らなかった。
- ・毎月の会議で光熱水費、使用量等の報告を行い、職員のコスト面への意識づけを図った。
- ・通所に関しては、コロナ禍において落ち込んでいた稼働率の回復のため、社協の行事への参加、ケアマネへのさらなる広報などを実施し、新規ご利用者の獲得に努めた。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・サービスの質の向上のため、資格の取得に努めた。施設運営に必要な資格もあるため、人事異動等により、必要な人数を下回らないよう調整を行った。
- ・業務の見直しを図り、柔軟な勤務体制を構築するという目標に対して、業務改善、ヘルプ機能の強化のため、職員のグループ間移動を継続して行った。
- ・働きやすい環境整備のため、設備の修繕に関しては、優先順位をつけ必要なものから随時実施した。

◆ 地域社会への取組み

- ・行政や各団体等の関係機関が開催する研修や会合に対面で参加できるようになり、地域における課題等の情報共有を図ることができた。中には、4年ぶりに開催された会合もあった。
- ・施設内においては、まだ様々な制限がある中で、対面での面会の実施、実習の受入など、ご利用者が施設外の人と触れ合える機会を確保するよう努めた。
- ・引き続き、大山地区社会福祉協議会の買い物支援に対し、車両の貸し出し支援を行った。

【居宅介護支援】(太陽会ケアプランセンター OHANA)

1. 運営状況

ご利用者が在宅で安心して生活できるようサービスの調整・支援に努めた1年だった。

2022年度に引き続き、感染症対策に留意しながら事業所の運営を行った。

BCP(事業継続計画)の策定、介護支援専門員実務研修の受け入れなども実施した。

2023年4月にケアマネジャーが1名増員され、7名体制となった。

2. 月別請求件数

2023.4.1～2024.3.31(人)

状態区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1～5	182	186	188	187	191	184	186	181	184	180	179	177	2,205
要支援1～2	44	44	43	41	41	41	42	43	44	44	40	45	512
合計	226	230	231	228	232	225	228	224	228	224	219	222	2,717

【介護福祉士実務者研修】(太陽会キャリアカレッジ)

2016年度の介護福祉士国家試験の受験資格が実務経験年数3年から実務経験年数3年+450時間の実務者研修終了が義務づけられ、当法人ではご利用者に質の高いサービスを提供できるよう、また職員がキャリアアップを目指し仕事にやりがいを感じられるよう、プロフェッショナルな人材の育成・確保を目的に2017年度から4月、6月、8月、10月、12月、2月の6期(各定員20名)の開校。

2023年度の実績としては5月コース(新型コロナウイルス感染症の関係で1か月遅れての開講)太陽会内部から7名、外部から6名の計13名が受講。

13. たいよう（介護老人保健施設）（短期入所療養介護）（介護予防短期入所療養介護）
（通所リハビリテーション）（介護予防通所リハビリテーション）

ケアサポートセンターMOANA(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)

【定員】

- ・入所系 100名（短期入所は、入所の空床利用型）
- ・通所 60名
- ・定期巡回 定めなし

【運営（経営）実績】

チームケアの向上とICT、DXの導入により更なるサービスの向上を目指した。

- ・老朽化していたナースコールは、携帯端末と連携する機能を持つものの導入を計画したが、補助金の対象とならなかったこともあり、今年度の実現はできなかった。放置はできないことから2024年度に実行する予定。
- ・給食・栄養面では、新メニューを毎月数品取り入れた。
- ・通所リハビリテーションでは、補助金を活用してコミュニケーションロボットを1台導入と、大型モニターの導入でレクリエーションや体操など、サービスの快適性を向上させた。
- ・MOANAは、予定どおり6月に事業開始をすることができた。鴨川市では初の事業であるため、地域のケアマネジャーや介護事業者にも事業種別についての認知度が低かったことから、まずは認知度を上げるところからのスタートであった。

【重点項目】

◆ サービス提供実績

(1) 施設利用率実績

- ・入所・短期入所 延べ33,898人 92.6%
- ・通所リハビリ 延べ17,879人 72.1%（介護13,295人、要支援4,584人）
- ・MOANA 延べ31人 平均3.4人（2023年6月事業開始）

(2) 所定疾患施設療養費Ⅱの算定状況

種別	月												合計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2
尿路感染	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	8	5	18
带状疱疹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
蜂窩織炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	4

※ 所定疾患施設療養費の算定状況は、公表義務情報。

◆財務基盤の強化へ向けた取組み

●入所サービスの在宅復帰支・在宅療養支援機能加算の取得

既に入所している利用者は利用目的が在宅復帰を目指した入所ではないことが多く、今から在宅復帰に向けることが困難であり、指標の点数に届かず、算定ができなかった。

●今後新たに入所する利用者について、安房地域医療センターとの連携によるミドルステイ型の利用の枠組み作りを進めている。

◆人材育成と職場環境の整備

●人材育成

- ・教育担当者を中心に年間計画を立て、計画的に研修や訓練を行った。
- ・2021年度の介護報酬改定によって義務付けられ、2023年度中に移行期間が終わった虐待防止や感染症、その他の事項についても研修体制をチェックした。

●職場環境

- ・雇用や人事に係る制度は既に整っていることから、現状においては制度の適切な運用に心掛けた。
- ・施設・設備の面では、ナースコールの更新を中心に据えて業務の見直しを図る予定だったが、当年度にはできなかったため、翌年に見送った。
- ・業務継続計画を策定し、非常事態においても混乱を最低限に抑えられるよう準備した。

◆地域社会への取組み

●長狭高校の福祉コースに、年間を通じて職員を講師として派遣して、地域の福祉人材の育成に寄与している。

●津波避難ビルとして鴨川市の指定施設の登録をしている。近年では大規模な震災に対する備えが求められるようになったことから、地域住民の一時避難場所として安全と安心に寄与している。

14. まんぼう（ケアハウス）

【定員】

・入所 50名

【運営（経営）実績】

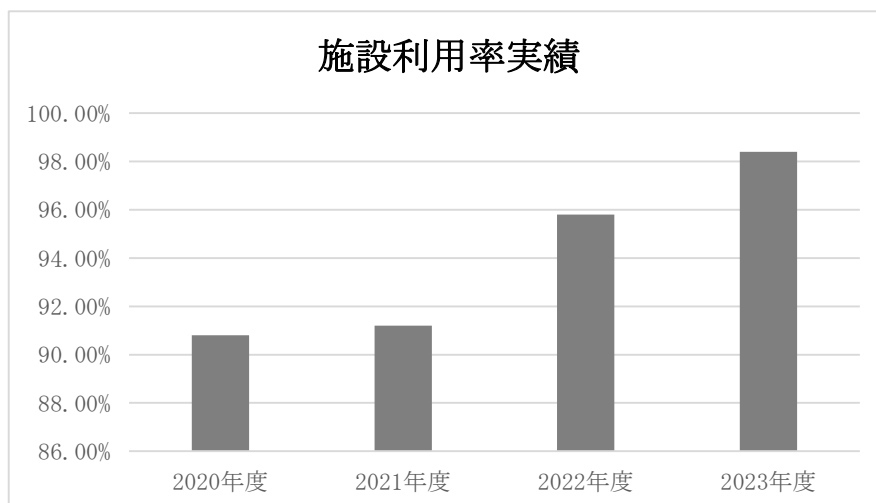
まんぼうへの入所を必要とされている方を最大限受け入れ、経営面で利用率を上げることに力を入れて来た。生活の場面では、生き生きと明るく自立した生活を送っていただけるよう自立生活をサポートする外部の福祉サービスの情報提供を進めてきた。

【重点項目】

◆ サービス提供実績

(1) 施設利用率実績

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
利用率	90.8%	91.2%	95.8%	98.5%



◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- 施設利用率の向上を最重要課題として取り組み、年平均 98.4%まで、利用率を引き上げる事ができた。
- 外部の福祉サービス（訪問介護、訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス等）を利用することで生活の質の向上が見られた。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- 各指針に基づいた研修と法人内研修を全職員が受講したことで、一人ひとりのスキルも上がった。また、ペーパーレス化を進め、申し送りや研修内容等の情報共有がデータ上で確実に確認できるようになって来た。

◆ 地域社会への取り組み

- 地域包括ケアシステムの一翼を担うべく、各関係機関との連携をとることで、福祉サービスが必要となった方々を多くサポートしてきた。
- x（エックス。旧 Twitter）にまんぼうの様子や活動を取り上げる事で、多くの方にケアハウスの情報を知っていただくことで地域社会への貢献を進めた。

各種会議及び行事

	行 事	会 議
4 月	誕生日会・外出デー(いちご狩り)	職員会議・ケース会議 その他
5 月	誕生日会	職員会議・ケース会議 その他
6 月	誕生日会・外出デー(紫陽花見学)	職員会議・ケース会議 その他
7 月	誕生日会・七夕飾り	職員会議・ケース会議 その他
8 月	誕生日会	職員会議・ケース会議 その他
9 月	誕生日会	職員会議・ケース会議 その他
10 月	誕生日会・秋の食事会	職員会議・ケース会議 その他
11 月	誕生日会・外出デー(紅葉ドライブ)	職員会議・ケース会議 その他
12 月	柚子湯・フラワーアレンジメント	職員会議・ケース会議 その他
1 月	初詣	職員会議・ケース会議 その他
2 月	節分	職員会議・ケース会議 その他
3 月	ひな祭り	職員会議・ケース会議 その他

* 虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、施設内感染管理委員会、施設内安全管理委員会は、各指針等に基づき定例で開催。

15. しあわせの里（障害者支援施設）

【定員】

- ・入所 70名
- ・短期入所 10名
- ・生活介護 70名
- ・相談支援事業

【運営（経営）実績】

新型コロナウイルス感染症が5類に変更となり、一般的には日常の生活となったが、感染症が無くなった訳ではなく、障害者施設や高齢者施設では、未だに感染症の影響を受け、短期入所のご利用やご入所者の生活面、特にアクティビティ、外出やご家族との面会等にリスク軽減から支障を及ぼしている状況である。限られた生活の中でもご利用者に少しでも楽しみを持っていただけるよう職員みんなで検討した。

【重点項目】

◆ サービス提供実績実績

(1) 施設利用率実績

事業種別等	利用率
施設入所	98.0%
短期入所	60.7%
生活介護	93.6%
相談支援事業	20件/月

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- 感染症等の影響もあり、短期入所の利用制限やキャンセルが発生し稼働に支障があったが、入所に関しては6名の退所者が出たが迅速に新規入所に繋げることが出来た。
- 物価、燃料費高騰に対して節電やムダなコスト削減に努めた。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- 障害者支援、虐待防止、身体拘束適正化、感染予防、災害対策の他、生産活動に関する研修に重点を置いた。
- 2023年度から採用した外国人職員への教育に重点を置いた。
- 施設設備の老朽化に伴い、本棟の空調設備の新規入替工事を実施した。

◆ 地域社会への取り組み

- 2024年1月に能登半島地震が発生した。当施設でも自然災害に備えてBCPの策定やシミュレーション訓練を実施した。また地域の福祉避難所として鴨川市と連携検討を図った。
- 少子高齢化問題地域の人材不足に対して、積極的に近隣の学校等から実習生の受入を実施した。

◆ 各種会議及び行事

月	行 事	会 議
4月	・春の外出	食事
5月	・食事会	食事 入浴 排泄
6月	・ダンス	食事 入浴
7月	・食事会(ハンバーガー)	食事 入浴
8月	・花火	入浴
9月	・食事外出	食事 生産性向上委員会
10月	・食事会	食事 生産性向上委員会
11月	・紅葉外出・食事外出	食事 排泄 生産性向上委員会
12月	・クリスマス会・忘年会	食事 生産性向上委員会
1月	・初詣外出	食事 排泄 生産性向上委員会
2月	・お食事(テイクアウト)	食事 排泄 生産性向上委員会
3月	・ビンゴ大会	生産性向上委員会

* 虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、施設内感染管理委員会、施設内安全管理委員会は、各指針等に基づき定例で開催。

16. らんまん（障害福祉サービス事業所）

【定員】

- ・就労継続支援 B 型 38 名 従たる事業所(らんまん和田事業所)10 名
- ・自立訓練(生活訓練) 6名
- ・共同生活援助(グループホーム星の砂) 7名 ・共同生活援助(ケアホームらんまん) 18 名

【運営(経営)実績】

当事業所では、現行のサービスと並行し、地域共生社会を目指し、ご利用者の新たな社会参加の場として従たる事業所「らんまん和田事業所」の開設と、安房医療福祉専門学校南房総校の学生食堂「花カフェ」の運営の準備を進めた。

日中サービスでは、作業工賃額の多寡による就労継続支援 B 型の報酬体系に対応し、工賃額の向上に取り組んだ。多くの方のご理解やご協力を得て、長年の目標であった工賃平均額 20,000 円を達成。また、各グループホームでは、ご利用者が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる生活支援サービスに努めた。結果として、施設利用率大きな落ち込みもなく、安定的な経営を維持することができた。

【重点項目】

◆ サービス提供実績実績

(1) 施設利用率実績

事業種別等	施設利用率
就労継続支援 B 型	89.5%
自立訓練(生活訓練)	20.7%
グループホーム星の砂	99.9%
ケアホームらんまん	98.8%

* 自立訓練(生活訓練)定員 6 名。
年度途中での就職者あり欠員。

(2) 作業工賃額等実績

項目	金額
年間売上額	30,104,745 円
平均工賃額	23,364 円

* 就労継続支援 B 型利用者工賃支給額。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- 各事業所とも感染症による施設利用率の大きな落ち込みもなく順調に推移した。
また、和田事業所、花カフェの施設整備費用を考慮しつつ、経費の低減に努めることで安定的な経営を維持することができた。
- 利用契約者の確保及び利用率向上の取り組みとして、相談支援事業者、特別支援学校、関係機関に対し、和田事業所開設の情報発信を行い、特別支援学校等からの実習生を受け入れ、次年度の 3 名の新規利用に繋がった。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- 障害者支援、虐待防止、身体拘束適正化、感染予防、災害対策の他、生産活動に関する研修を中心に、リモートでの受講環境も活用し、より質の高いサービス提供に繋る研鑽に努めた。
- 新規事業を見据えた、役割分担、適正人員配置のための採用と、らんまん、GH拠点間の連携の強化に努めた。

◆ 地域社会への取り組み

- ご利用者の社会参画と農業の働き手の確保を目的とした「農福連携」の作業活動に継続的に取り組み、市内農家さんからの受託件数の増加と、地域貢献に繋がるよう努めた。
- オルカ鴨川 FC ホームゲームにてコラボイベントに参加。係員、販売ブースでの製品販売に出店し、ご利用者の仕事が社会へ繋がっていることや地域貢献を実感でき、多くの方のご理解や共感を得るという副次的効果にも繋がった。

◆ 各種会議及び行事

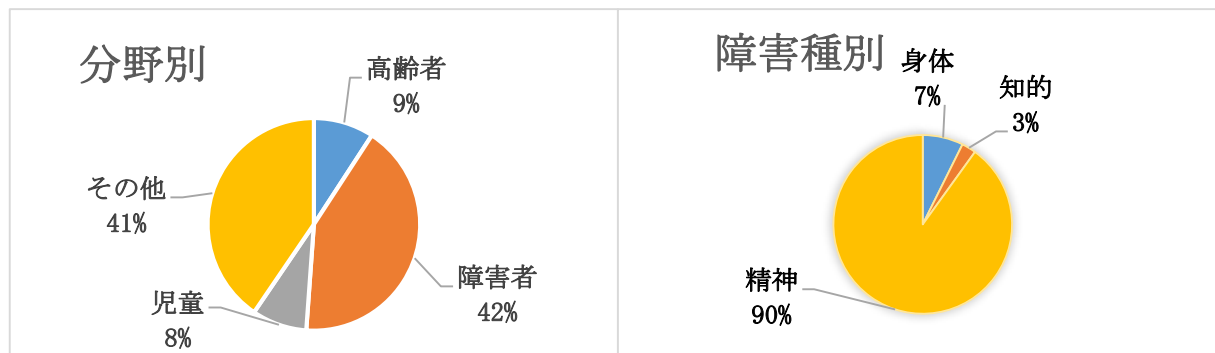
月	行 事	会 議
4 月	・春の遠足、ドライブ	・事業拠点間連絡会議(全体会議)
5 月	・お楽しみ会(ゲーム他)	・事業拠点間連絡会議(全体会議)
6 月	・ドライブ	・事業拠点間連絡会議(全体会議)
7 月	・食事会	・事業拠点間連絡会議(全体会議)
8 月	・花火	・事業拠点間連絡会議(全体会議)
9 月	・オルカ鴨川 FC コラボイベント (係員協力、出店販売)	・事業拠点間連絡会議(全体会議)
10 月	・ハロウィンパーティー	・事業拠点間連絡会議(全体会議)
11 月	・食事外出(小グループ)	・事業拠点間連絡会議(全体会議)
12 月	・クリスマス会(亀ママキッチンお弁当)	・事業拠点間連絡会議(全体会議)
1 月	・新年会	・事業拠点間連絡会議(全体会議)
2 月	・節分会・陶芸他 体験教室	・事業拠点間連絡会議(全体会議)
3 月	・お楽しみ会(亀ママキッチンお弁当)	・事業拠点間連絡会議(全体会議)

* 虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、施設内感染管理委員会、施設内安全管理委員会は、各指針等に基づき定例で開催。

17. 千葉県中核地域生活支援センター ひだまり

◆ 包括的相談支援事業

制度の狭間にある人、複合的な課題を抱えた人等を、分野横断的に幅広く受け止め、相手方に寄り添った支援を行う総合相談事業。2023年度の総相談件数は5,224件（うち新規相談件数は103件）、分野別では障害者＞高齢者＞児童と続くが、どの分野にも属さない「その他」も多いのが特徴。相談内容は、希死念慮や自殺企図、ひきこもり、就労支援、仕事や住居への不満、夫婦間の問題、多重債務、進路が決まらぬままの卒業で繋がりを失う要支援者等、多岐に渡る中で、それぞれの専門機関と連携をしながら支援を行った。



◆ 地域総合コーディネート事業

安房圏域の地域課題を把握し、行政や各分野の支援者と問題意識を共有。互いのネットワークの強化を図った。定期的に行っているスクールソーシャルワーカーとの連携会議や、2023年度から開始した高校居場所カフェをきっかけに、相談に繋がる生徒があった。また、2021年から開始した、ひだまりの居場所づくり「あつまり」が、鋸南町のひきこもりプラットフォームとして機能し始める等、新たな社会資源として、ひだまりの地域活動が認知され始めている。

◆ 権利擁護事業

本人や家族が認識していない権利侵害や、権利を有しながらも必要な支援を受けられていないケース等、権利擁護についての積極的な把握に努め、地域自立支援協議会権利擁護部会主催の障害者差別解消支援地域協議会研修の企画・運営を実施。また、同協議会6部会合同開催の「利用者及び支援者の権利擁護について」の研修に参加した。児童虐待では、安房圏域3市1町すべての要保護児童対策地域協議会に参加、ひだまりで関わっているケースの情報提供等を積極的に発信した。高齢・障害分野も同様に、各市町の虐待防止ネットワークの委員として参加し、再発防止に努めた。安房地域権利擁護推進センター主催の成年後見制度普及啓発シンポジウムにパネリストとして参加した。

◆ 市町村バックアップ事業

関係者や関係機関からの求めに応じて、助言等の支援を行い、市町村や各相談支援機関のスキルアップを図り、地域全体の対応力の向上を図った。今年度は地域包括ケア連絡会の協力の下、重層支援体制整備事業についての勉強会を開催。関係各課、社会福祉協議会の実務者が参加し、複合的な課題を抱える家族についての事例検討を行った。検討後アンケートでは、今後の勉強会継続について希望する声が多く見られた。

◆ 障害者グループホーム等支援事業

安房圏域のグループホーム及び生活ホーム(以下「GH 等」という)は、2024 年3月末現在 32 法人 124 住居となり、定員数 534 名となっている。近年、障害者 GH の課題として、「GH の支援の質」と、強度行動障害や医療的ケア、入居者の高齢化に伴う身体介護等に対応できる専門分野に対応できる GH が少ないという課題があり、今年度は、それぞれの課題に対し県内各圏域の GH 支援ワーカーがチームに分かれ、実際に対応できている GH の視察を実施。スタッフへの教育内容や、対応方法等どのような体制が必要であるかを研究し、講座を通して発信した。

安房圏域の GH の推移

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
住居数	37	41	51	53	58	68	85	87	93	117	123	124
定員数	116	175	226	231	249	294	370	390	413	508	531	534

◆ 生活困窮者自立相談支援事業

既存の制度では十分に対応できなかった生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、自立相談支援等を実施する。定期的に支援調整会議を開催し、関係機関との情報共有やプラン内容の評価等について協議し、連携体制を構築する。受託事業は以下 3 事業で鋸南町を担当。

a. 自立相談支援事業 b. 就労準備支援事業 c. 家計改善支援事業

本年度は 10 人の生活困窮者に対して支援した。長期目標を立て、短期目標の成功体験を積み上げる事を基本とした支援を行った。多くは繋がりにくさを感じる相談者だが、ひだまりの居場所づくりに繋がったケースもあった。毎月の支援調整会議や緊急対応に寄り添う中で、関係機関との連携は強化されており、町からの介入依頼も増えている。2023 年度は児童の相談もあり、要保護児童対策地域協議会に取り上げられるなど、チーム支援構築の重要性も感じた。

◆ 校内居場所づくり事業

家庭環境など様々な要因により生活困難な状況にある子どもを早期に発見し、福祉的支援に繋げる目的で、2年間のモデル事業として県から受託した。前年度から準備期間として学校側と協議を繰り返し、2023 年 6 月から開始した。生徒たちの投票により「ゆるかふえ」と命名し、行政、社会福祉協議会、相談支援事業所、時には亀田ファミリークリニック医師、安房医療福祉専門学校の生徒ボランティア等の協力を得ながら、高等学校内で月1回開催した。生徒参加数は平均 60 名前後となっており、食料支援に加え、学校以外の人と関われる場として、開催の意義を感じている。モデル事業終了後の運営については、学校側の意向もあり、学校名を公表していない状況であり、今後の自走が課題として残る。その中で何らかの形で相談に繋げ、少しでも生徒達の精神面の支援を継続できるよう努める。実際、相談に繋がった進行中のケースもあり、支援機関同士の情報共有の場としても、有益なものになっている。

18. 鴨川市福祉総合相談センター 天津小湊

【運営(経営)実績】

前年度に引き続き、総合相談や介護予防ケアマネジメント、包括的・継続的ケアマネジメントや権利擁護等の各事業を行った。総合相談の相談件数は前年度とほぼ同数だが、複合的な課題を抱える事例が増えており、鴨川市福祉総合相談センターをはじめとした各関係機関と連携しながら対応した。また、機能強化の認知症総合支援事業については、認知症関連の各会議への参加やサロン等の開催を行ったが、今後は現在の活動を継続していく他に、活動の中で得た本人や家族の意向に沿った活動内容を検討していく必要がある。

1. 総合相談事業

相談受付実績 計 254 件

高齢者	障害者	児童	DV その他	合計
223	16	3	12	254

- ・高齢者の相談は認知症や介護保険サービスの相談が半数を占めている。相談件数は昨年とほぼ同数。
- ・高齢者相談においても介護者に支援が必要な事例等、複合的な課題を抱える事例が増加傾向。

2. 介護予防ケアマネジメント事業

【実績】 介護予防支援 3月末の請求件数 1,062 件

(内訳)相談センター・天津小湊:575 件 委託:487 件 委託率 45.8%

介護予防ケアマネジメント(介護予防・生活支援サービス事業) 3月末の請求件数 442 件

(内訳)相談センター・天津小湊:208 件 委託:234 件 委託率 52.9%

- ・介護予防支援や介護予防・生活支援サービス事業について、介護予防プラン作成やサービスの調整を行い、委託介護支援事業者に対し介護予防支援計画書作成の指導を行った。

3. 包括的・継続的ケアマネジメント事業

【実績】 相談件数 51 件

困難ケース 4件

個別支援会議の開催 3件

- ・介護支援専門員からの相談を受け付け、介護支援専門員の能力の向上を図りながら課題解決できるよう、他関係機関と連携を図りながら支援を行った。

4. 権利擁護事業

【実績】 年間権利擁護相談件数 0件
成年後見制度利用支援相談数 0件
虐待対応相談件数 10件
虐待の事実あり:4件 虐待の事実なし:6件

通報者内訳

通報・相談者内訳	件数
本人	1
介護支援専門員	5
警察	3
病院関係者	1
合計	10

虐待類型内訳

虐待類型内訳	件数
身体的虐待※	1
心理的虐待	3
経済的虐待	1
合計	5

※心理的虐待と重複。

- ・虐待を疑う相談があった場合には、速やかに鴨川市福祉総合相談センターや鴨川市福祉課地域ささえあい係に報告し、各関係機関と連携しながら対応した。

5. 認知症総合支援事業

【実績】 認知症初期集中支援チーム員会議 6回／年間
認知症サロン(こんにちはカフェ) 6回／年間
認知症家族のつどい 2回／年間
認知症地域支援推進員との会議 1回／年間

- ・認知症初期集中支援チーム員会議に出席し、認知症疾患医療センター他関係機関と連携しながら対応方法を検討。介護保険サービス等へ繋げる支援を行った。
- ・認知症に関する民生委員や地域住民、家族からの情報や相談に対して個別支援を行うと同時に、認知症家族のつどいやサロンの開催を通して認知症の普及啓発活動を行った。

6. 研修参加報告

【実績】 年間研修参加回数 54回

- ・地域包括支援センター・介護保険関連研修 26回
- ・虐待研修 4回
- ・認知症関連研修 12回
- ・医療関連研修 8回
- ・災害関連研修 4回

19. 安房地域医療センター(病院)

1. 診療実績

(1)入院	2021年度	2022年度	2023年度	前年度比
のべ患者数(1日平均)	51,893(142)人	50,342(138)人	50,740(139)人	100.8%
新入院患者数	2,891人	2,783人	3,036人	109.1%
退院患者数	2,891人	2,794人	3,058人	109.4%
平均在院日数	17.8日	18.4日	16.9日	91.9%
病床稼働率	95.4%	92.6%	93.0%	100.5%
診療単価	58,279円	57,744円	60,194円	104.2%
診療収益(室料除く)	2,853,459,361円	2,739,899,943円	2,871,600,796円	104.8%
(2)外来	2021年度	2022年度	2023年度	前年度比
のべ患者数(1日平均)	138,837(458)人	146,658(484)人	146,930(484)人	100.2%
(うち救急患者数)	15,825人	16,107人	18,381人	114.1%
(うち救急搬送数)	2,834人	2,978人	2,818人	94.6%
診療単価	13,315円	13,005円	12,974円	99.8%
診療収益	1,821,717,908円	1,877,901,630円	1,881,100,376円	100.2%
(3)手術	2021年度	2022年度	2023年度	前年度比
整形外科	640件	628件	597件	95.1%
泌尿器科	214件	166件	283件	170.5%
人工透析	50件	52件	54件	103.8%
外科	1件	23件	47件	204.3%
婦人科	5件	12件	10件	83.3%
乳腺外科	0件	0件	15件	—
計	910件	881件	1,006件	114.2%
(4)心臓カテーテル	2021年度	2022年度	2023年度	前年度比
実施件数	760件	628件	741件	118.0%
(5)人工透析	2021年度	2022年度	2023年度	前年度比
実施件数	18,917件	17,662件	17,109件	96.9%

2. 健診・検診実績

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	前年度比
実施件数	50,787 件	53,585 件	55,285 件	103.2%
保険予防活動収益	437,825,114 円	439,970,506 円	409,126,392 円	93.0%

3. 職員数

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	前年度比
実人数(常勤換算)	673(560.3)人	662(542.1)人	666(548.3)人	100.6%

入院患者数は、50,740 人(1 日平均 139 人)。前年度比+398 名、0.8%増となった。夏以降、複数回にわたり新型コロナウイルス感染症の院内クラスターが発生したが、病床回転を止めることなく新規入院を最大限に受入れたことで前年度から僅かに増加した。泌尿器科や乳腺外科での医師常勤化や積極的な受入れが新入院数の大幅な増加につながったが、予定入院が中心であったことから、前年度と比較すると 1 人あたりの入院期間(平均在院日数 16.9 日)が短縮されたことで、在院数・稼働数については小幅な伸びに止まった。

入院診療収益は 28 億 7,200 万円。前年度比+1 億 3,200 万円、4.8%増と患者数を上回る増加幅となった。手術料収益および入院料収益の増加が主な要因であり、これらで全体の 80%以上を占めた。前者については、心臓カテーテル件数および泌尿器科をはじめとした手術件数の増加、後者は、のべ患者数の増加と新入院数の増加に伴う診療単価の上昇によるものであった。なお、手術件数については、2008 年の開設以降、初の年間 1,000 件を超えた。診療単価は 60,194 円、前年度比+2,450 円。

外来患者数は、146,930 人(1 日平均 484 人)。前年度比+272 名、0.2%増とほぼ横ばいとなったが、地域外来・検査センターの閉鎖を加味すれば、実際には数字以上の増加があったと言える。区分別では、一般外来および透析は減少、救急のみが増加した。一般外来については、医師常勤化や小児感染症の拡大による増加はあったが、技術職のマンパワー不足等に起因する減少もあり、全体では前年度実績を下回った。透析は、高齢化による転院・終了数の高止まりに加え、年度前半の新規導入のペース不足が影響した。救急は、主に発熱外来の増加であったが、新型コロナ 5 類移行に伴う一般診療の伸びもあり、前年度比+114%と大きく増加した。また、救急搬送数は減少したものの、2,800 件を超える高い水準を維持した。

外来診療収益は 18 億 8,100 万円。前年度比+0.2%と患者数同様の伸び幅となった。コロナ特例措置の縮小や一般外来等での患者数減少によるマイナスはあったが、CT・MRI の運用変更や注射治療の新規導入等による増収が上回り全体ではプラスとなった。診療単価は 12,974 円。減収要因に起因する低下があり 13,000 円を割り込んだ。

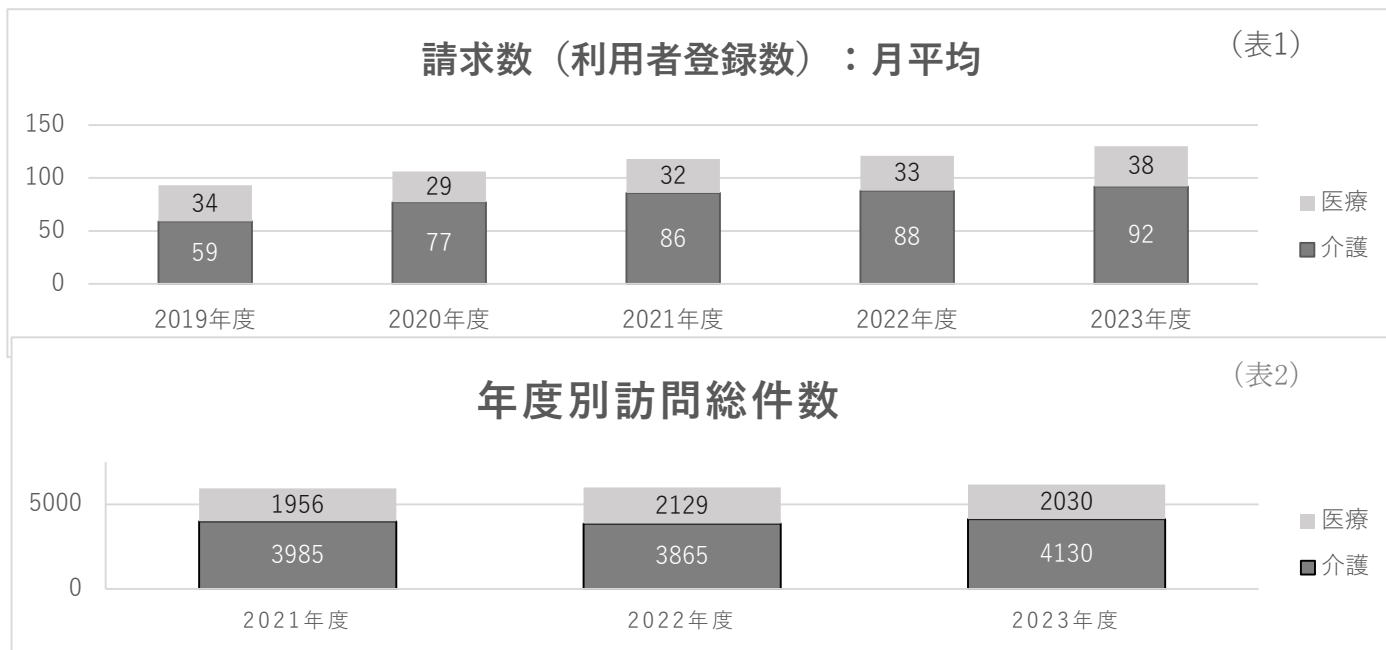
健診・検診については、新型コロナワクチン接種事業は縮小したものの、特定健診や事業所健診、人間ドックなどはいずれも前年度からは増加、全体でもプラスとなりコロナ禍による影響からは回復しつつある。

2023 年度は、患者数は前年度から微増に止まったが、手術や心臓カテーテル、画像診断などの行為別件数の増加が大幅な増収へとつながった。しかしながら、労務費の増加や物価高騰など圧迫要因は多く、また、診療報酬も実質的にはマイナス改定の方向にあるなど経営環境は決して楽観視できない。今後も手術件数等の増加をはじめとして、施設基準の新規取得や病床機能の最適化など、更なる増収・増益対策を講じていく必要がある。

20. 訪問看護ステーションおひさま

【運営(経営)実績】

月平均の登録者数や訪問総件数は年々微増に留まっている(表1、2)。新規登録者数と終了者数が100～110名とほぼかわらない状況である。医療保険登録者はターミナルが多い為、短期利用となってしまう。



【2023年度振り返り】

財務の視点>

- 平均訪問件数500件/月以上を目標に掲げ、513件/月の実績であった。ターミナルの利用者も多く、頻回な訪問計画の実施と新たなチーム制の導入による効率的な訪問動線の獲得が結果に結びついたと考える。
- 医療保険での流動的な訪問件数に左右されないために、安定した訪問件数の確保が重要であり、介護保険での訪問利用者の増加を目標に掲げた。100件/月を目標としたが92件/月に留まったため、継続課題とする。

顧客の視点>

- 効果的な退院支援に関与するため、既存の退院指導パンフレットの見直しを実施。手技獲得が難しい吸引指導から介入し、完成したもので退院指導が実施されている。また、円滑な退院支援を目指し退院支援看護師との密な連携を図った。年間3回にわたる意見交換会を通し、それぞれの抱える問題や状況の共有等に努めた。

業務プロセスの視点>

- ICTを利用した情報の共有化、業務の簡素化を目的に新システムを導入。これにより、訪問先での情報の確認、記録入力ができ、看護の標準化や訪問スタッフの不安軽減、訪問と訪問の隙間時間の有効利用につながった。
- 特定行為研修修了者が2名在籍し、効果的な特定行為を実践している。手技関連に特化しているが、23年度はカニューレ交換61件、胃瘻交換16件、膀胱瘻交換2件、デブリードマン19件で延べ7名の利用者に対して実施した。また依頼を受けた医療機関は安房地域医療センターと亀田ファミリークリニック館山の2施設となっているため、今後も特定行為を周知し依頼機関、利用者の増加を図っていく。
- 在宅の視点を養う教育の院内浸透を目的に、おひさまへの病棟看護師研修を9月より開始。師長・主任クラスから研修を開始させ、病棟内での教育に活かす方針。毎月1名ずつの受け入れとし、延べ5名が修了。今後も継続的な研修継続を実施予定。

学習と成長の視点>

- 新人看護師の配置が1名あった。看護師1年目での訪問看護対応は教育が難しく、独り立ちまで多くの労力が割かれる。おひさま独自のプログラムにより現在独り立ちし継続的に勤務できている。新人配置を機にプリセプター以外の先輩スタッフの協力も多大で、事業所全体で教育する取り組みができた。今回が成功体験となり、今後も看護師1年目の訪問看護配置での対応も可能であると考え。

【職員の配置状況】

看護職員 8名(常勤) 事務職員 1名

【業務内容】

1. 予防看護・地域看護・終末期看護・緩和ケア・家族看護・リハビリテーション等
利用者の想いに添い、期待以上のサービスを提供するために主治医や、その他関連職種との密な連携のもとに訪問看護を実施している。
2. 24時間緊急時対応体制
利用者やその家族からの連絡(状態の変化や療養上の不安等)に、主治医と連携を図りながら24時間対応できる体制を整備している。また必要であれば土・日曜日、祝日での計画的な訪問看護も実施している。

【カンファレンス・連携・教育】

1. 安房在宅カンファレンス 第2木曜日 17:00～
安房地域医療センターの訪問診療をしている総合診療科の医師と、共通の利用者について訪問内容や方針相談などリモートで情報共有している。
2. 亀田ファミリークリニック館山在宅カンファレンス 第3水曜日 17:15～
関係職種(医師、リハビリ、ケアマネジャー等)と共通の利用者について、Office365内 Teamsアプリを利用し日々の情報共有をしている。
また、安房地域医療センターと同様に、共通の利用者についての方針決定やお看取り後の振り返りを月1回実施している。
3. 他院との連携
地域の開業医等からの訪問看護導入の相談が適宜発生し、各施設のソーシャルワーカーや担当医師、看護師との連携を図り対応している。また、必要時退院前カンファレンスへの参加も実施している。
4. 医療的ケア児等支援ワーキング
行政や地域で活躍する相談室と連携し適宜会議を実施している。
5. 教育
医療施設からの研修医見学など、積極的に受け入れをしている。
安房地域の看護学校(亀田医療大学、亀田医療技術専門学校、安房医療福祉専門学校)からの実習生受け入れや、亀田医療大学の非常勤講師として在宅看護論の講義を担っている。
6. 特定行為
特定行為研修修了者が在籍し、主治医からの指示(手順書)にて対応している。

21. 安房医療福祉専門学校（看護学科）

【運営(経営)実績】

本校は開校 10 年目を迎え、今年度は8期生 30 名が卒業、27 名が看護師として安房地域医療センター(15 名)をはじめとする安房地域を主とした医療機関に就職した。過去8年間では 260 名の卒業生の内、213 名(82%)が 3 市 1 町に就職し、安房地域医療の維持・発展に大きく寄与している。国家試験では目標の合格率 100%を達成出来ない結果となったが、教員による徹底した国家試験対策を1年次から試験直前まで実施、3年次の模擬試験では学校単位で千葉県 1 位になるなど、学生の学力向上に日々努め、成果を上げてきた。

学生募集においては、資料請求、オープンキャンパス参加や受験促進を図るため様々な媒体を活用、高校営業やガイダンス等に教職職員を積極的に派遣し、入試改革等も行ってきたが、少子化、大学志望者の増加、看護師志望者の減少の影響もあり2024年度の入学者数は33名(定員40名)と厳しい結果となった。

尚、入学者の内、太陽会奨学金利用者は 19 名(58%)である。

2. 学生の状況(2024年3月)

(1)性別 (人数)

	1年生(10期生)	2年生(9期生)	3年生(8期生)	合計
男性	4	6	13	23
女性	37	28	18	83
合計	41	34	31	106

(2)高校新卒者／社会人(高校新卒者以外)の別 (人数)

	1年生(10期生)	2年生(9期生)	3年生(8期生)	合計
高校新卒者	31	25	17	73
社会人	10	9	14	33
合計	41	34	31	106

(3)住所地(出身地)別状況 (人数)

	1年生(10期生)	2年生(9期生)	3年生(8期生)	合計
安房三市一町合計	14	10	9	33
館山市	9	6	3	18
南房総市	5	3	3	11
鴨川市	0	0	2	2
鋸南町	0	1	1	2
千葉県のその他の市町村合計	18	17	15	50
千葉県以外合計	9	7	7	23
合計	41	34	31	106

(4)学生寮入居状況 (人数)

	1年生(10期生)	2年生(9期生)	3年生(8期生)	合計
男性	2	5	7	14
女性	21	11	10	42
合計	23	16	17	56

3-1. 看護師国家試験(第113回)

	受験者	合格者	合格率	全国平均	備考
現役	30名	27名	90.0%	93.2%	毎年全国平均(合計)を上回る 合格率。8回中4回100%
既卒	0名	-	-	30.4%	
合計	30名	27名	90.0%	87.8%	

3-2. 卒業生(2024年3月)就職状況

就職先の所在地	人数
館山市	20名
鴨川市	3名
その他千葉県	4名
東京都	2名
神奈川県	1名
合計	30名

4. オープンキャンパス(学校説明会含)参加者の推移

(のべ人数)

開催年度 区分	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生	9期生	10期生	11期生
高校3年生	65	88	89	45	61	64	44	43	59	76	52
社会人他	70	47	42	33	24	28	48	36	32	21	14
当年受験対象者計	135	135	131	78	85	92	92	79	91	97	66
高校1・2年生	12	27	25	29	18	37	22	4	12	9	11
参加者合計	147	162	156	107	103	129	114	83	103	106	77

5. 学校推薦受験者数と入学者数の推移

年度 区分	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生	9期生	10期生	11期生
①指定校	0	5	12	9	5	5	3	9	8	17	7
②公募	26	11	16	7	6	12	5	1	18	15	11
学校推薦計①+②	26	16	28	16	11	17	8	10	26	32	18
入学者数(全体)	49	42	43	37	33	40	36	34	42	43	33

6. 入学試験の状況(2023年度実施 11期生)

(人数)

日程 区分	A日程(10/14)			B日程(12/2)			C日程(1/20)			D日程(2/23)			合計		
	受験	合格	入学	受験	合格	入学	受験	合格	入学	受験	合格	入学	受験	合格	入学
指定校推薦	7	7	7	-			-			-			7	7	7
公募推薦	9	8	8	3	3	3	0	0	0	-			12	11	11
社会人推薦	1	1	0	1	1	1	1	1	1	-			3	3	2
一般	7	6	4	3	3	2	6	6	6	1	1	1	17	16	13
合計	24	22	19	7	7	6	7	7	7	1	1	1	39	37	33

22. 認定こども園 OURS（認定こども園）

【定員】

- ・認定こども園 OURS 390名
- ・一時預かり事業 15名
- ・学童クラブ OURS 90名
- ・子育て短期支援事業 15名
- ・地域子育て拠点支援事業 15名

【運営(経営)実績】

児童福祉法(昭和22年法律第164号)その他の子どもに関する法律による施策と相まって、子ども・子育て支援、その他の子ども及び子どもを養育している者に必要な支援を行い、もって一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる、こどもまんなか社会の実現に寄与することを目的とし、2023年度の事業を運営した。

我慢を重ねたコロナ禍での時間を取り返すかの様に、チャレンジが多い一年だった。「足りない部分は他人が持っている」をテーマに掲げ、人材不足でも活動の充実が出来るよう、地域や保護者とのコラボ活動を多岐に渡って展開し、これまで以上に新たな価値を創造する事が出来た。

【重点項目】

◆ サービス提供実績実績

(1)施設利用率実績

事業種別等	利用率
教育・保育課	77.9%
一時預かり事業	129.1%
学童クラブ OURS	105.3%
トワイライトステイ	8.0件/月
OURS アカデミー	7団体

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

目標利用率の達成と、物価の高騰に対する節約（主に物品）を順守した。人材不足や少子化が進む昨今、園の独自性や特色を可視化しなければ新規顧客の獲得が難しくなっている事を鑑み、SNS（Instagram）を新たに開設し、園のアピール活動を強化した。備品委員会が中心となり、費用管理とリスク管理を行い、予算に基づいた、資金の最適運用を行った。

◆ 人材育成と職場環境の整備

OURSの強みであるタスクシフト制で、それぞれのプロフェッショナルがしっかりと役目を果たせるように各委員会を編成し、品質の維持と向上、職場環境の整備に尽力した。点ではなく面で支える事で個人の負担を軽減し、職員一体となって教育・保育に携わり、使命を最大限に果たした。キャリアアップ研修の積極的な推進、幹部候補の育成等、計画的に実施する事が出来た。

◆ 人材育成と職場環境の整備

認定こども園 OURSを中心に、安房地域で子育てする皆さんの、あらゆる「困った」に対応可能なシステムを構築した。それらは地域に波及し、OURS館山の設立へと繋がり、開園準備に向けて市、地域、保護者との協議を続けた一年だった。園行事の夏祭りでは、飲食の提供のリスクを緩和し、コロナ禍で元気がなくなった地域を盛り上げる為、地域の飲食店（キッチンカー）にSNSを通じてコラボを呼びかけ、5店舗に賛同をして頂いた。当日は園の利用者を除き、1,200人を超える来客があり、売り上げをそれぞれの収益として頂く事で、リスクを抑えた上で、地域貢献と園行事の活性化を同時に果たす事が出来た。

◆ 各種会議及び行事

月	行事・保健計画	研修・会議
4月	入園式・始業式・進級式 避難訓練・誕生会・こどもの日会 手洗い・トイレの使い方指導	保健研修・調乳指導・おむつ交換研修・園の安全管理研修・各課連携研修・幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
5月	避難訓練 誕生会・不審者対応訓練 手洗い・トイレの使い方指導	虐待対応研修・情報管理研修・幹部会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
6月	避難訓練 親子遠足(強雨の為中止)・誕生会 歯磨き指導・プールの約束 プライベートゾーンの話	救急救命研修・幹部会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
7月	七夕会・避難訓練 おらがまち・誕生会・終業式 歯磨き指導・プールの約束 熱中症予防のお話	幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議・アナフィラキシー対応とエピペン取り扱い
8月	避難訓練・誕生会 歯磨き指導・プールの約束・トイレ指導	防災計画・災害研修・選択制保育実技研修・幹部会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
9月	始業式・総合防災訓練・防災教育 0歳児運動会・1歳児運動会 2歳児運動会・誕生会・幼児課運動会 オータムキャンプ うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット・怪我予防	総合防災訓練研修・幹部会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
10月	避難訓練 誕生会・ハロウィンパーティー うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット・怪我予防	安全管理研修・幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
11月	避難訓練・遠足・誕生会 不審者対応訓練・怪我予防 うがい・手洗い指導・ケガのお話 鼻のかみ方・咳エチケット	安全管理研修・幹部会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
12月	0歳児発表会・1歳児発表会 2歳児発表会 避難訓練・誕生会・幼児課発表会 終業式・クリスマス会 うがい・手洗い指導・トイレ指導	救命救急研修・幹部会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
1月	始業式・避難訓練・誕生会 うがい指導・食事のマナー	マーチング研修・指導要録の書き方・給食研修・幹部会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
2月	節分会・避難訓練・誕生会・造形展 バディクラスフリー参観 ブレイブクラスフリー参観 セージクラスフリー参観 風邪予防教室 咳エチケット・体のはたらき	KYT研修・嘔吐処理研修・幹部会議・カンファレンス会議・アレルギー会議・給食会議
3月	ひなまつり会・避難訓練・遠足 誕生会・卒園式・終業式 歯磨き指導・こころといのちのお話	環境衛生研修・幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議

23. OURS baby (企業主導型保育所)

【定員】

- ・保育所 114名
- ・預かりサービス 8名(1日当たり)

【運営(経営)実績】

政府が求める女性の就業率の向上や、政府による「子育て安心プラン」に基づき、子育て世代が安心して子育てと就業の両立が可能となるよう、保育サービスの提供はもとより、子育て相談や提携企業と連携した従業員の確保など、企業主導型保育所として役割は達成できたと考える。

また、新型コロナウイルスや胃腸炎など、いまだ感染症が流行している中ではあったが、立案した「年間保育計画」を確実に実践し、運動会や発表会などでは保護者も参観し、子どもの成長を保護者と保育者が共感できる機会を設けた。

【重点項目】

◆ サービス提供実績実績

(1) 施設利用実績

事業種別等	利用実績(延べ)
保育所	961名(70.0%)
預かりサービス	136名(4.6%)

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- 提携企業と連携し、利用子どもを迅速に受け入れ、保育サービスの稼働率向上を目指した。
- 物価、燃料費高騰に対して節電やムダなコスト削減に努めた。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- 2023年度年間教育訓練計画をもとに、職員の資質向上に向けた内部研修を月1回以上実施し、特に虐待防止や不適切保育の防止について重点を置いた。
- 保育士キャリアアップ研修を受け、専門スキルの向上に努めた。
- 保育従事者の業務についてICTを活用した業務改善を実施した。

◆ 地域社会への取組み

- 鴨川市内の保育が必要となっている世帯に対して、待機児童を防ぐ観点から、地域枠の入所として利用子どもの受け入れを実施した。
- 一時的に養育が困難になった子育て世帯に対して、預かりサービスを実施した。

◆ 各種会議及び行事

月	行事	研修・会議
4月	・誕生会 ・こどもの日会 ・避難訓練	・未来を救う子育て支援研修 ・2023年度品質目標 ・嘔吐処理研修 ・リーダー会議 ・各委員会会議
5月	・誕生会 ・不審者対応訓練 ・避難訓練	・認知症サポーター研修 ・虐待対応、情報管理研修 ・保育所での母乳育児支援 ・立腰教育・事故防止対策研修 ・リーダー会議 ・各委員会会議
6月	・誕生会 ・親子遠足 ・避難訓練	・保育所保育指針を学ぶ ・水遊び、熱中症研修 ・防災研修 ・リーダー会議 ・各委員会会議
7月	・誕生会 ・七夕会 ・避難訓練 ・サマーフェスティバル	・虐待対応研修 ・食物アレルギー、エピペン研修 ・リーダー会議 ・各委員会会議
8月	・誕生会 ・避難訓練	・不適切保育防止会議 ・リーダー会議 ・各委員会会議
9月	・誕生会 ・避難訓練 ・運動会(0歳児・1歳児・2歳児)	・安全研修 ・リーダー会議 ・各委員会会議
10月	・誕生会 ・避難訓練 ・ハロウィンパーティー	・安全管理研修 ・不適切保育防止会議 ・リーダー会議 ・各委員会会議
11月	・誕生会 ・避難訓練 ・遠足	・感染予防研修 ・手洗い指導 ・リトミック研修 ・不適切保育防止会議 ・リーダー会議 ・各委員会会議
12月	・誕生会 ・避難訓練 ・クリスマス会 ・発表会(0歳児・1歳児・2歳児)	・不適切保育防止のための研修 ・リーダー会議 ・各委員会会議
1月	・誕生会 ・避難訓練 ・新年会	・保育所保育指針を学ぶ ・不適切保育防止会議 ・リーダー会議 ・各委員会会議
2月	・誕生会 ・避難訓練 ・節分会	・コンプライアンスについて学ぶ ・感染対策研修 ・リーダー会議 ・各委員会会議
3月	・誕生会 ・避難訓練 ・遠足 ・ひな祭り会 ・お別れ会(2歳児)	・体育研修 ・リーダー会議 ・各委員会会議

*虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、施設内感染管理委員会、施設内安全管理委員会は、各指針等に基づき定例で開催。

24. パークウェルステイト鴨川

【概要】

1. 所在地 千葉県鴨川市浜荻 1002
2. 名称/用途 パークウェルステイト鴨川 / 介護付有料老人ホーム
3. 住居者数 約 882 名
4. 居室数 自立居室 409 室
介護居室 64 室
計 473 室

【運営(経営)実績】

今年度は介護居室への入居も 8 人増え、直接処遇職員の増員も行った。高級シニアレジデンスとして、ここでしか提供できないサービスを模索してきた。ご入居者からのニーズも今までの施設ではなかったようなことの連続で、その都度皆で協議してきた。富裕層であるご入居者・ご家族に、パークウェルステイト鴨川の介護フロアで生活できることが喜びとなれるよう、新しい介護のカタチを構築してきた。

【重点項目】

◆ サービス提供実績

(1) 契約者の推移

2023 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
介護居室<AL> 入居人数 (人)	5	4	4	7	7	9	11	11	13	13	13	13
一般居室<IL> 特定契約人数(人)	0	0	0	0	0	0	1	2	4	3	3	3

(2) 介護居室契約者 男女比 (n=13)

	男	女
介護居室契約者(人)	4	9

(3) 介護居室契約者 年齢別 (n=13)

	70 歳代	80 歳代	90 歳代
介護居室契約者(人)	2	5	6

平均年齢 :87.8 歳

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ご入居者の新規受け入れが円滑に行えるよう多職種で調整してきた。稼働が上がることでスタッフを手厚く配置できるため、引き続き新規受け入れを整備する。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- 今年度、直接処遇職員の増員があった。開業以来、2年ぶりの増員であり、「人に教える」と言うことの難しさを感じた。スタッフ全員が統一した教育ができるようにマニュアル類の整備を進めて行く。

◆ 地域社会への取組み

- 長狭高校福祉コースの生徒などをレジデンス見学に招待した。通常の施設とは違う高級有料老人ホームを見学することで、将来福祉を目指す人材が1人でも増えることに期待する。
- 地域で活動している様々な団体（フラダンス・太鼓・スポーツ吹き矢・ボッチャなど）にイベントを開催してもらった。そこで楽しみを見出し、ご入居者同士でサークルを立ち上げ継続的に行っている活動もできた。

◆ 各種会議及び行事

月	行 事	会 議
4 月	・お花見	新入職者研修①
5 月		高齢者虐待予防
6 月	・紫陽花鑑賞 ・日本舞踊	新入職者研修②
7 月	・オーシャンパーク(道の駅)	身体拘束廃止
8 月	・花火大会鑑賞(小湊)	事故予防
9 月	・お月見	コンプライアンス・マナー
10 月	・カラオケ大会	感染予防
11 月		高齢者虐待予防
12 月	・ハープ演奏会	身体拘束廃止
1 月	・初詣	BCP
2 月	・節分	緊急時対応(BLS)
3 月	・アフタヌーンティー会	

25. 家事代行サービス ルアナ

【運営(経営)実績】

有料老人ホームで行う家事の代行業務として「パークウェルステイト鴨川」の入居者を対象に開設した家事代行サービス ルアナ(以下、ルアナ)。件数としてはあまり変動がないものの、契約ご入居者からは「非常に助かっている」と喜びの声が多く聞かれた。自立居室への新規ご入居者も増えてきているため、ルアナの存在をしっかりとアピールし、新規契約者の拡大に努める。

【重点項目】

◆ サービス提供実績

(1) サービス利用実績

2023 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
月 1 時間プラン(人)	3	3	5	6	5	5	4	3	5	5	4	5
月 2 時間プラン(人)	4	2	5	3	4	4	3	5	4	4	3	3
月 3 時間プラン(人)	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
月 5 時間プラン(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外出プラン(時間)	1	1	3	6	2	2	2	1	2	2	2	1
スポットプラン(10 分)	1	4	4	3	4	7	4	2	4	2	1	1
お試しプラン(無料)	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0

(2) ご利用者の年齢構成(n=8)

	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	100 歳代
サービス利用者(人)	0	1	7	0	0

(3) ご利用者の世帯構成(単身/夫婦)(n=8)

	単身 ※	夫婦
サービス利用者(人)	7	1

※単身入居の場合：男性 4人 女性 3人

- 訪問介護サービスの清掃と併用して自費契約している方もいる。
- 1 時間プランのニーズが高いが、1 ヶ月に 1 回の作業のため清潔が保てない現状がある。
- 男性(1 人入居)のご契約者が多い。
- 介護認定を取得し、訪問介護サービスに移行され利用中止となるケースがある。
- 依頼内容は、清掃(風呂、トイレ、床等)が多い。

(4)ご契約者のお声

- 部屋がきれいな状態で維持できて助かります。
- 誰が来てもしっかりと掃除してくれて、教育が行き届いている。
- 病院受診は何回来ても1人じゃわからないから、いつも助かっている。
- 急な予定変更も柔軟に対応してもらえて嬉しい。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- 無料サービス（ご入居から1ヶ月以内に1回）のご利用も年間2件だけであったため、ルアナの宣伝方法の検討が必要。
- 家事代行サービスで使用する物品も数多く購入しているため、あまり掃除アイテムを幅広く準備せず、必要最低限のアイテムに絞りこみ無駄を削減する。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- 今年度、ご契約者ごとの掃除マニュアルを作成した。家事代行から訪問介護（掃除）に切り替えた方などは、ケアマネジャーからの掃除範囲確認の引継ぎに活用した。
- 家事代行としての研修が費用面等で困難であった。動画などを活用し、実践研修を進めて行くことが課題である。
- 年度途中から家事代行を行うスタッフ（パート）を採用。介護フロアの現場業務を圧迫することなく家事代行業務が行えた。

26. 有料職業紹介事業サンキャリ

労働者派遣事業サンキャリ

【派遣登録者】

- ・介護福祉学科学生 2年生 5名 1年生 7名
- ・看護職員 1名

【有料職業紹介事業登録者】

- ・看護職員 1名

◆ 労働者派遣業サービス提供実績

(1) 営業 9法人

(2) 取引実績 2法人

- ・医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
- ・社会福祉法人柚子の会 特別養護老人ホーム リブ丸山

(3) 派遣単価

職種(雇用形態)	単 価(1時間あたり)
看護師(常勤)	3,100 円
看護補助(アルバイト)	1,365 円
調理補助(アルバイト)	1,560 円
調理補助(アルバイト)※17:50~20:20	1,950 円

(4) 派遣者数

2023 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
看護師(常勤)	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
看護補助(アルバイト)	3	3	3	3	7	7	9	8	8	8	9	5
調理補助(アルバイト)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合 計	4	4	4	4	8	8	9	8	8	8	11	7

(5) 派遣時間数

2023 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
看護師(常勤)	112	169	160	152	152	168	0	0	0	0	0	0
看護補助(アルバイト)	396	352	372	284	513	532	760	968	908	1,028	660	596
調理補助(アルバイト)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	248	229
合 計	508	521	532	436	665	700	760	968	908	1,028	908	825

利用法人の声

- 継続して派遣して欲しい。(リブ丸山)
- 増員を希望。(亀田総合病院)
- 明るく真面目で助かる。(亀田総合病院)
- 情報共有のための連絡手段を考えて欲しい。(亀田総合病院)

◆ 有料職業紹介事業サービス提供実績

(1) 相談中 1法人

(2) 取引実績 0法人

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

● 派遣・紹介派遣できる人材の確保

2024年は外国人奨学金貸与枠を20名に設定し、ベトナム人(6人)、インドネシア人(8人)、ネパール人(2人)の留学候補生を選抜した。(2024年10月入国)

千葉県留学生受入プログラムに参加していない学生に、専門学校卒業後、本会の派遣職員となった場合の処遇について説明した。

● 社宅・学生寮の整備

社宅の借り上げについて、就職希望者に説明を行った。

安心して留学できるよう、学生寮として40戸借り上げ、インフラを整備した。

◆ 人材育成と職場環境の整備

● 日本語教育

日本語教員の池田氏による海外の留学候補生のオンライン日本語授業を開始した。

● 連絡手段(派遣事業スタッフと派遣登録者)

公式ラインを使った連絡手段を確立した。

● 連絡手段(派遣先と派遣会社)

亀田総合病院とは Teams を使い、管理スタッフがお休みの連絡等ができるよう、しくみを整えた。

● 亀田医療技術専門学校より、安房医療福祉専門学校南房総校に転校したあと、派遣先への送り迎えについて検討し、仕組を整えた。